



2025年度

### 新涯東雲8号橋

福山市一文字町地内

### 橋梁修繕工事 実施設計書

	当初設計
	工事延長 L=15.7m
	橋長 L=15.7m
	有効幅員 W=13.0m
	ひび割れ補修工 L=16m
エ	断面修復工 V=0.2m3
_	支承補修工 N=38基
	排水施設工 L=4m
事	橋梁用防護柵工 L=30m
	舗装工 A=5m2
概	仮設工 一式
1-70	
要	

#### 第1章 総則

#### 第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事(新涯東雲8号橋)に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ·令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書(別冊図面、仕様書)」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

#### 第2節 工程表の提出について

・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の 変更契約についても同様とする。

#### 第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

#### 第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等は無いと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

#### 第5節 施工承認図の作成

・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

#### 第6節 工事に着手すべき期日について

・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

### 第7節 法定外労災保険の付保について

・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

### 第8節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

### 第2章 施工条件

#### 第1節 関係機関との協議

・協議先機関名:福山市上下水道局工務部水づくり課

・協議内容 : 工事に伴う雨水幹線の水位調整について

• 協議先機関名:福山市上下水道局工務部管路整備課

・協議内容 : 工事に支障となる添架管について

・協議先機関名:株式会社中国バス

・協議内容:工事に伴う交通規制について

### 第2節 検査期間

・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

#### 第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画(配置日数及び配置場所)を作成し、監督員と協議すること。

### 第4節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、 受注者の責任において定めるものとする。
- 内容: 仮設足場工

#### 第5節 建設副産物について

- (1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
- 1 建設廃棄物処理計画書
- ・廃棄物処理業者(収集及び運搬)の許可証の写し(許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車 検査証の写しを含む)
- ・廃棄物処理業者(中間処理・最終処分)の許可証の写し(再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む)
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- 各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者(収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設)との二者の業務委託契約書の写し
- 2 再生資源利用計画書
- 3 再生資源利用促進計画書
- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
- 1 再生資源利用実施書
- 2 再生資源利用促進実施書
- 3 建設廃棄物処理実施書
- ・マニフェスト (産業廃棄物管理票) の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写
- (マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。)
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場(直接最終処分の場合のみ)への搬入状況の写真

### 第6節 特定建設資材廃棄物 (アスファルト塊、コンクリート塊等)

- ・建設リサイクル法対象工事 (請負代金額500万円以上) の場合、「建設工事に係る資材の再資源 化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1 号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出 すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という)を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県(環境局)及び保健所設置政令市(広島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、広島県(環境局)及び保健所設置政令市 (広島市、呉市、福山市)が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うもの の中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由 がある場合を除き再資源化に要する費用(単価)は変更しない。なお、工事発注後に明らかに なったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものと する。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト (産業廃棄物管理票) の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し し (マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。)

### 第7節 工事現場発生品

次のとおりスクラップすること。 ・品名:既設防護柵・既設排水管

### 第3章 その他

#### 第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

#### 第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙(土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について)によるものとします。

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
  - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
    - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上の現場閉所等を行うものをいう。
    - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。
    - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上の ものをいう。
  - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
  - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を 含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
  - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
    - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
    - イ 工場製作のみが行われている期間
    - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされ た期間
  - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
  - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
  - ア 完全週休2日(土日)
    - 1(1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
  - イ 月単位の週休2日
    - 1(1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

### ウ 通期の週休2日

1(1) ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所(現場休息)計画表兼実績表(様式1)(以下「計画表」という。)を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休 2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は 計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場 合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員 との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
  - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
  - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して 工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定める ものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類(工事日誌、出勤簿等をいう。)とともに毎月7日(7日が閉庁日の場合は翌開庁日)まで及び 工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合 せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。
  - (1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日(土日)を達成したと認めた場合は、完全週休2日(土日)の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

### (2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

#### (1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の 区分に応じて完全週休2日(土日)(港湾工事を除く。)又は月単位の週休2日の補正係数 を適用して変更契約を行うものとする。

#### (2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を 達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

- 12 土木工事(港湾工事を含む。)に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数(港湾工事を除く。)及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事(港湾土木請負工事積算基準を適用した工事)については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。
  - (1) 完全调休2日(土日)

ア 労務費1.02イ 共通仮設費1.02ウ 現場管理費1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費 1.02

イ 共通仮設費1.01 (港湾工事を除く。)ウ 共通仮設費1.02 (港湾工事に限る。)エ 現場管理費1.02 (港湾工事を除く。)オ 現場管理費1.03 (港湾工事に限る。)

- 13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気 通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金 (船舶製作工を除く。)とする。
- 14 土木工事については、完全週休2日(土日)又は月単位の週休2日を達成したとき、港 湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及 び「創意工夫」において評価するものとする。
- 15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。
- 16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

### 土木工事市場単価の補正係数 (港湾工事を除く。)

		補正係数			
夕新		月単位	完全		
名称	区分	の週休2日	週休2日		
			(土目)		
鉄筋工		1.02	1.02		
ガス圧接工		1.01	1.01		
ノンカー・キングゴー・カエ	設置	1.01	1.01		
インターロッキングブロック工	撤去	1.02	1.02		
叶	設置	1.00	1.00		
防護柵設置工(ガードレール)	撤去	1.02	1.02		
	設置	1.00	1.00		
防護柵設置工(ガードパイプ)	撤去	1.02	1.02		
	設置	1. 02	1.02		
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去	1.02	1.02		
防護柵設置工(落石防護柵)		1.01	1.01		
防護柵設置工(落石防止網)		1.01	1.01		
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	設置	1.00	1.00		
道路標識設置工	撤去・移設	1. 01	1.01		
W-11 E-11 -11 E-11	設置	1. 01	1.01		
道路付属物設置工	撤去	1. 02	1.02		
法面工		1. 01	1.01		
吹付枠工		1. 01	1.01		
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)		1. 01	1.01		
道路植栽工		1. 02	1.02		
公園植栽工		1.02	1.02		
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01		
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02		
橋面防水工		1.01	1.01		
薄層カラー舗装工		1.00	1.00		
グルービング工		1.00	1.00		
軟弱地盤処理工		1. 01	1.01		
コンクリート表面処理工		1 01	1 01		
(ウォータージェット工)		1. 01	1.01		
硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1.01		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01		
心甘花	人力施工	1.02	1.02		
砂基礎工	機械施工	1. 02	1.02		
<i>九.</i>	人力施工	1. 02	1.02		
砕石基礎工	機械施工	1.02	1.02		
組立マンホール設置工		1.01	1.01		
小型マンホールエ		1.00	1.00		
	ます設置工	1.00	1.00		
取付管及びます設置工	取付管布設及	1 01	1 01		
	び支管取付工	1. 01	1.01		

### 港湾工事市場単価の補正係数

	補正係数
名称	月単位
	の週休2日
底面工	1. 01
マット工(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1. 00
支保工	1. 02
足場工	1. 01
鉄筋工	1. 02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工 (ポンプ車打設)	1.02
コンクリート打設工 (ポンプ車打設以外)	1.02
止水板工	1. 02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1. 02
防舷材取付	1. 02
車止・縁金物取付	1. 02
係船柱撤去	1. 02
防舷材撤去	1. 02
車止撤去	1. 02
電気防食取付	1. 02
防砂目地板取付工 (陸上施工)	1. 02
防砂目地板取付工 (水中施工)	1. 02
吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.02
港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.01
ペトロラタム被覆	1. 02
現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.02
現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1. 02
かき落とし工	1. 02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.00
汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

### 土木工事標準単価の補正係数

		補正係数			
名称	区分	月単位	完全		
		の週休2日	週休2日		
			(土日)		
区画線工		1.02	1.02		
高視認性区画線工		1.02	1.02		
橋梁塗装工		1.01	1.01		
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01		
特点物とサニ47し上	人力	1.02	1.02		
コンクリートブロック積工		1.02	1.02		
排水構造物工		1.02	1.02		

(1) **ご協力をお願いします 週休2日適用工事**○○○○をなおしています
○○年○○月まで **時間帯○:○○~○:○○ ○○ ○○○ ○○ ○○○ ○○ ○○ ○○○ ○○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○** 

(2) 週休2日適用工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。

発注者:福山市〇〇〇〇〇課 受注者:〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

### 総括情報表

这更回数 第四岁 <b>何</b> 地区	0 70 海山主	凡例
適用単価地区 単価適用日	70 福山市 00-07.09.01(0)	Co ・・・コンクリート As ・・・アスファルト DT ・・・ダンプトラック BH ・・・バックホウ
	00 07.00.01(0)	CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン
		RTC・・・ ラフテレーンクレーン
者経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 前世代	
 [種	41 橋梁保全工事	
施工地域・工事場所区分	02 市街地(DID補正)	
夏興補正区分 週休補正区分	00 補正なし   00 補正なし	
見場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
[CT補正区分 ⊱期補正係数	00 補正なし   00 補正なし	
S·斯特正例数 S·急工事区分	00 補正なり	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
<b>契約保証区分</b>	01 金銭的保証(0.04%)	
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	<del>O</del>
<b>[</b> 業者負担額,労務管理費	,安全訓練等に要する費用等)が必要であり,本積算ではこれらを現場管理費	
D一部として率計上してい	<b>ర</b> ం	

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
	1	式			
橋梁補修工	I	10			Y1G0324 レベル2
	4	式			
ひび割れ補修工	1	エレ			Y1G032404 レベル3
O O HI I VIIII IS T					
	1	式			Y1G03240401レベル4
【材料種類】					11603240401 01 174
		構造物			
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合					S1020031 00
開修座、人座及2001/八周0万場日					
	1	構造物			単第0 -0001 表
低圧注入工法					Y1G03240402レベル4
【材料種類】					
		構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法)					S1020035 00
補修延べ延長25m未満の場合					
	1	構造物			単第0 -0002 表
断面修復工	•	1137-173			Y1G032405 レベル3
	1	式			
	ı	上(		1	

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
左官工法					Y1G03240501レベル4
【材料種類】					
【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】					
		構造物			
断面修復工(左官工法)					S1020041 00
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)					
修復延べ体積0.241m3	4	+# >/= #/m			₩ <b>₩</b> 0 0000 <b>±</b>
コンカリートが待じ、海伽(紫帝悠復士)	1	構造物			単第0 -0003 表 S1020051 00
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [有]DID区間					S1020051 00
[待]575년(6) 運搬距離_4.0km以下(3.0km超)					
是预距离_4.0km以下(3.0km起)	0.2	m3			単第0 -0004 表
【直接工事費に含まれる処分費等】	0.2	IIIO			#0041 #0041
「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費					T9005 00
再生工場搬入					
	0.6	t			
足場					Y1G03240502レベル4
【安全ネットの有無】					
		m2			
足場工(床版補強工)					S3030011 00
桁高1.5m未満					
	<b>50</b>				₩₩0 0000 ±
	50	m2			単第0 -0006 表
足場・防護 シート+板張 1工事での足場使用1回					SPK25040337 00
マート+ 依張「工事での足場使用」回   足場架設総月数0.5月を超え1.0月以下					
上 歩木収総月数U.3月で起え1.0月以下	30	m2			単第0 -0007 表
	30	1112			半第0 -0007 役 Y1G032402 レベル3
×小間停工					110002702 12 1700
	1	式			
<u> </u>	•			L	

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支承補修					Y1G03240201レベル4
【支承形式,下部エブラケット取付の有無】					
【支承直下部以外のはつりの有無】		式			
支承補修		エ			F000000011 00
ゴム支承用耐候性表面保護					1000000011 00
日本 大力 (					
	1	式			
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	4	_ <u>+</u> -			
道路付属構造物塗装工	1	式			Y1G032502 レベル3
足路的 <b>属</b> 佛足彻至农工					110032302 177703
	1	式			
素地調整					Y1G03250201レベル4
【調整工種別】					
素地調整		m2			SPK25040312 00
					3FK23040312 00
	3	m2			単第0 -0008 表
下塗					Y1G03250202レベル4
【塗装種別,塗装箇所,塗替回数】					
   付属構造物塗替		m2			SPK25040313 00
17周暦垣初塗質 鉛・クロムフリー錆止めペイント 下塗 淡彩					3FN20U4U313 UU
防護柵類・落石防止柵類					
1998 lidyy A H 1977 lidyy	3	m2			単第0 -0009 表
付属構造物塗替					SPK25040313 00
鉛・クロムフリー錆止めペイント 下塗 淡彩					
防護柵類・落石防止柵類	•				¥ ## 0 0000 ±
	3	m2			単第0 -0009 表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
付属構造物塗替 フェノール樹脂MIO塗装 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類					SPK25040313 00
	3	m2			単第0 -0010 表
中塗 【塗料種別,塗装箇所,塗替回数】					Y1G03250203レベル4
		m2			
付属構造物塗替 塩化ゴム系塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類					SPK25040313 00
	3	m2			単第0 -0011 表
上塗 【塗料種別,塗装箇所,塗替回数】					Y1G03250204レベル4
		m2			
付属構造物塗替 塩化ゴム系塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類		mz.			SPK25040313 00
173 18 110 000 711 111 110 000	3	m2			単第0 -0012 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
排水施設工		Τν			Y1G032103 レベル3
	1	式			
排水管 排水管 【管規格】		Ι(			Y1G03210302レベル4
		m			
		III			SPK25040409 00
	4	m			単第0 -0013 表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートアンカーボルト設置					SPK25040408 00
あと施工アンカー(各種)					
	16	本			単第0 -0014 表
材料費(排水管)	10	<del>- 4</del>			F0000000020 00
天板プレート一体型排水装置、シール材、ア					1 000000020 00
	1	式			
橋梁用防護柵工					Y1G032105 レベル3
	1	式			
橋梁用防護柵		10			Y1G03210501レベル4
		m			F0000000021 00
					1 000000021 00
材工共					
A.E.V.L	1	式			
舗装工					Y1G0304 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G030402 レベル3
	1	式			
表層	I	<u> </u>			Y1G03040211レベル4
【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					
舗装部分打換え工		m2			V0002 00
舗表部ガ打換ん工 t=90mm					V0002 00
i - ooniii					デンカスーパーコンクリート同等品
	1	箇所			単第0 -0015 表

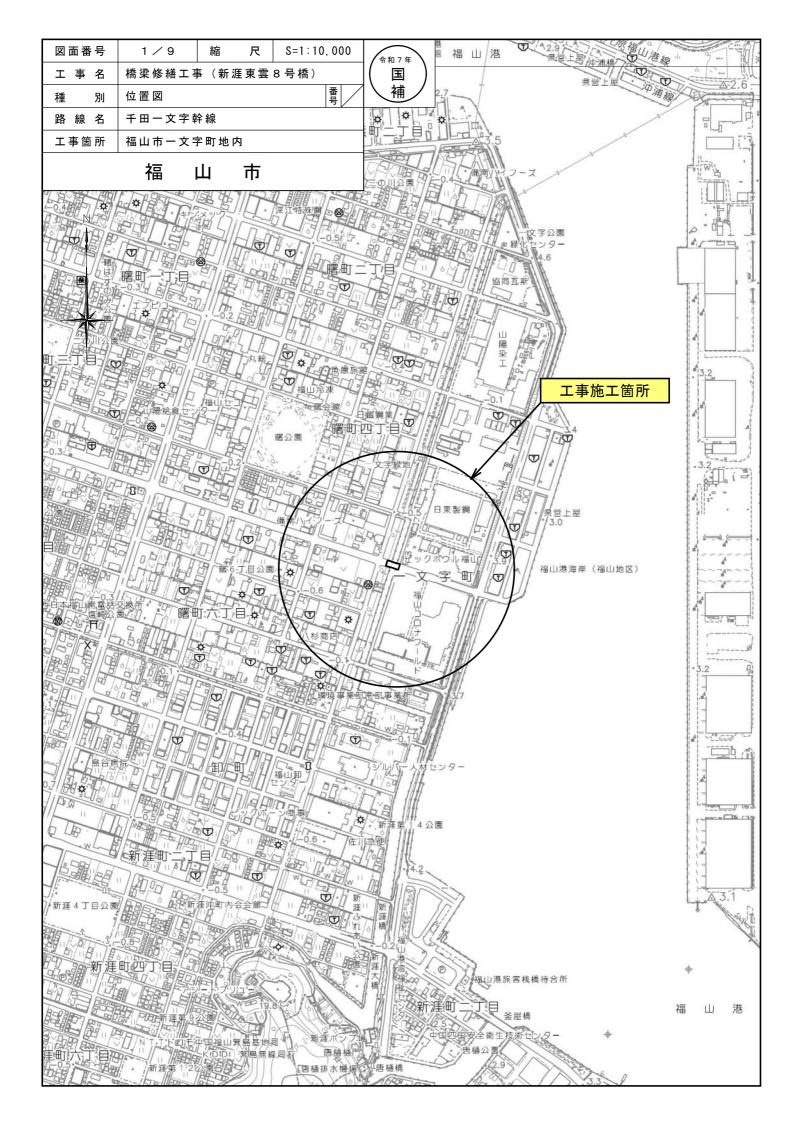
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
横造物撤去工	××=	7 12	<del>— іщ</del>	71C HX	Y1G0327 レベル2
「たた株+皿体b ナ 丁	1	式			V40000704
防護柵撤去工					Y1G032701 レベル3
	1	式			
防護柵撤去(ガードレール)					Y1G03270101レベル4
		m			SPK25040122 00
					3FR23040122 00
	29	m			単第0 -0017 表
防護柵撤去工(Gr) レール撤去					SS000129 00
路側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)					
	30				単第0 -0018 表
   排水構造物撤去工	30	m			単第0 -0018 衣 Y1G032708 レベル3
14701英色1分版公工					110002700 7 1770
	1	式			
排水管撤去					Y1G03270805レベル4
【作業区分】					
		m l			V0001 00
111.3. H. 111.0					
	4	m			単第0 -0019 表
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			
	<u> </u>	<b>1</b> 0		1	

費目・工種・施工名称など	 数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】					Y1G03270602レベル4
		m			
舗装版切断コンクリート舗装版コンクリート舗装版					SPK25040307 00
コンクリート舗装版厚15cm以下	7	m			単第0-0020 表
舗装版破砕 【舗装版種別,舗装版厚】					Y1G03270603レベル4
		m2			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工		=			SDT00031 00
	0.4	m3			単第0 -0021 表
運搬処理工	0.1	ino ino			Y1G032716 レベル3
	1	式			
殼運搬 【 殼種別 】					Y1G03271601レベル4
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)					SPK25040155 00
	0.4	m3			単第0 -0022 表
設処分 【 設種別 】					Y1G03271602レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

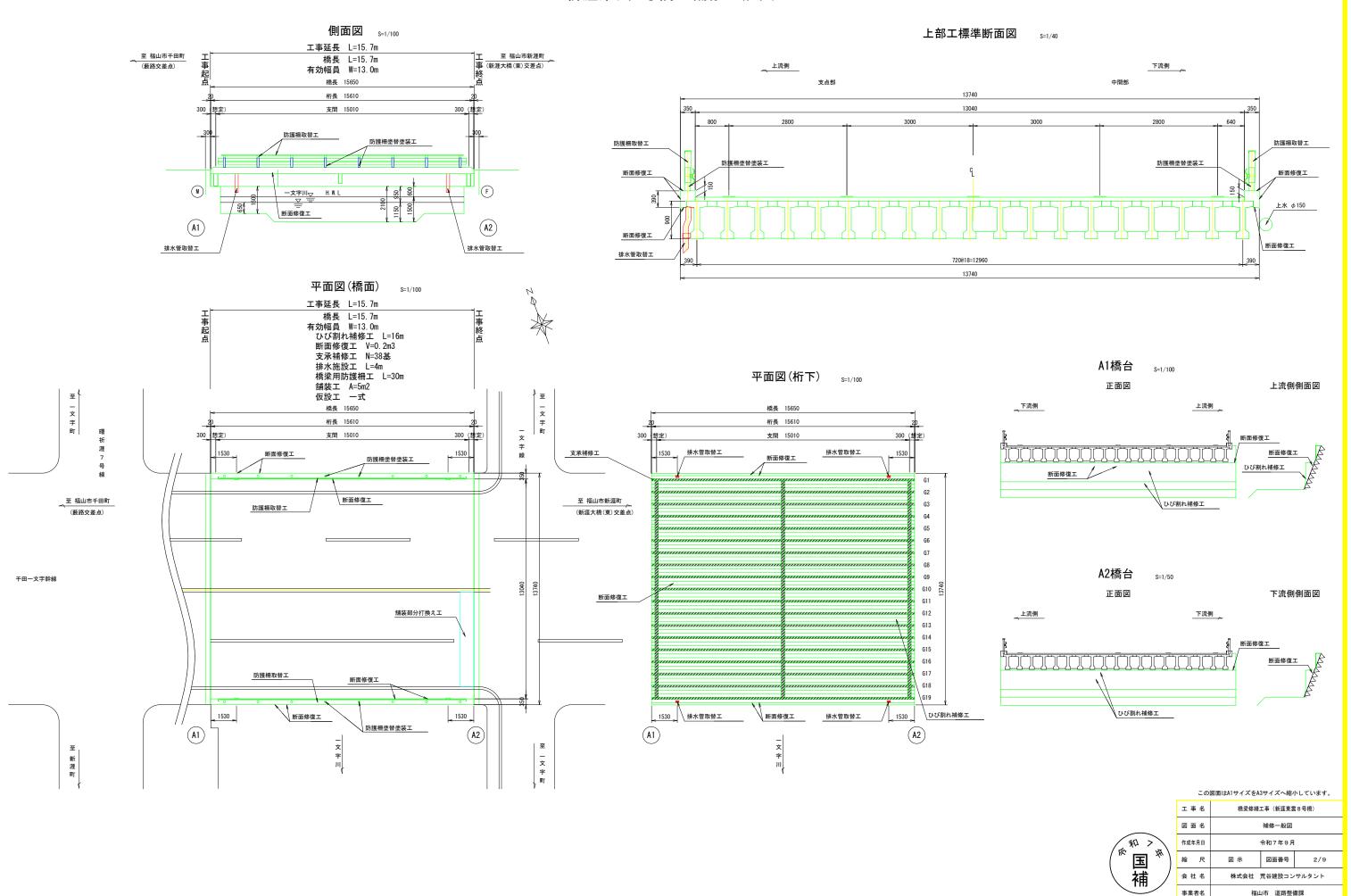
費目・工種・施工名称など	 数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート塊受入費					F0000000006 00
再生工場搬入					
	1	t			V/2000=/000 L N II /
現場発生品運搬					Y1G03271603レベル4
【発生材種類】					
現場発生品及び支給品運搬					SPK25040411 00
クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊					
片道運搬距離1.5km以下					
	0.53	t			単第0 -0023 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し					SPK25040412 00
クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊					
	0 50	1			光等0 0004 丰
【機器単体費】	0.53	t			単第0 -0024 表 #0046
共通仮設費[対象外],現場管理費[対象外]					#0040
一般管理費[対象外]					
13X11-15(X)3X1]					
スクラップ					F000000007 00
鉄屑(ヘビーH3)					
	0.53	t			
<b>仮設工</b>					Y1G0328 レベル2
	4	<del>-1-</del>			
	11	式			Y1G032821 レベル3
					110032021 1/1/1/3
	1	式			
交通誘導警備員	•				Y1G03282101レベル4
		人			

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
費目・工種・施工名称など 交通誘導警備員B					R0369 00
	26	1			
* * 直接工事費 * *	20				
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報					
対象額					
率* * * 共通仮設費計 * *					
八心似似矣们					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報					
対象額					
<u>率</u> * * 工事原価 * *					
ㅗਝ/까 삐 					
一般管理費率分					前払補正率
計算情報 対象額					
率					
			I .	i .	

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費	7.7.				
計算情報					
対象額					当初請対額 当初対象額
<u>率</u>					当初对家額
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額**					
計算情報 対象額					
X)   X)   X)   X)   X)   X)   X)   X)					
<u>率</u> **工事費計**					
* * 契約保証費計 * *					



### 新涯東雲8号橋 補修一般図



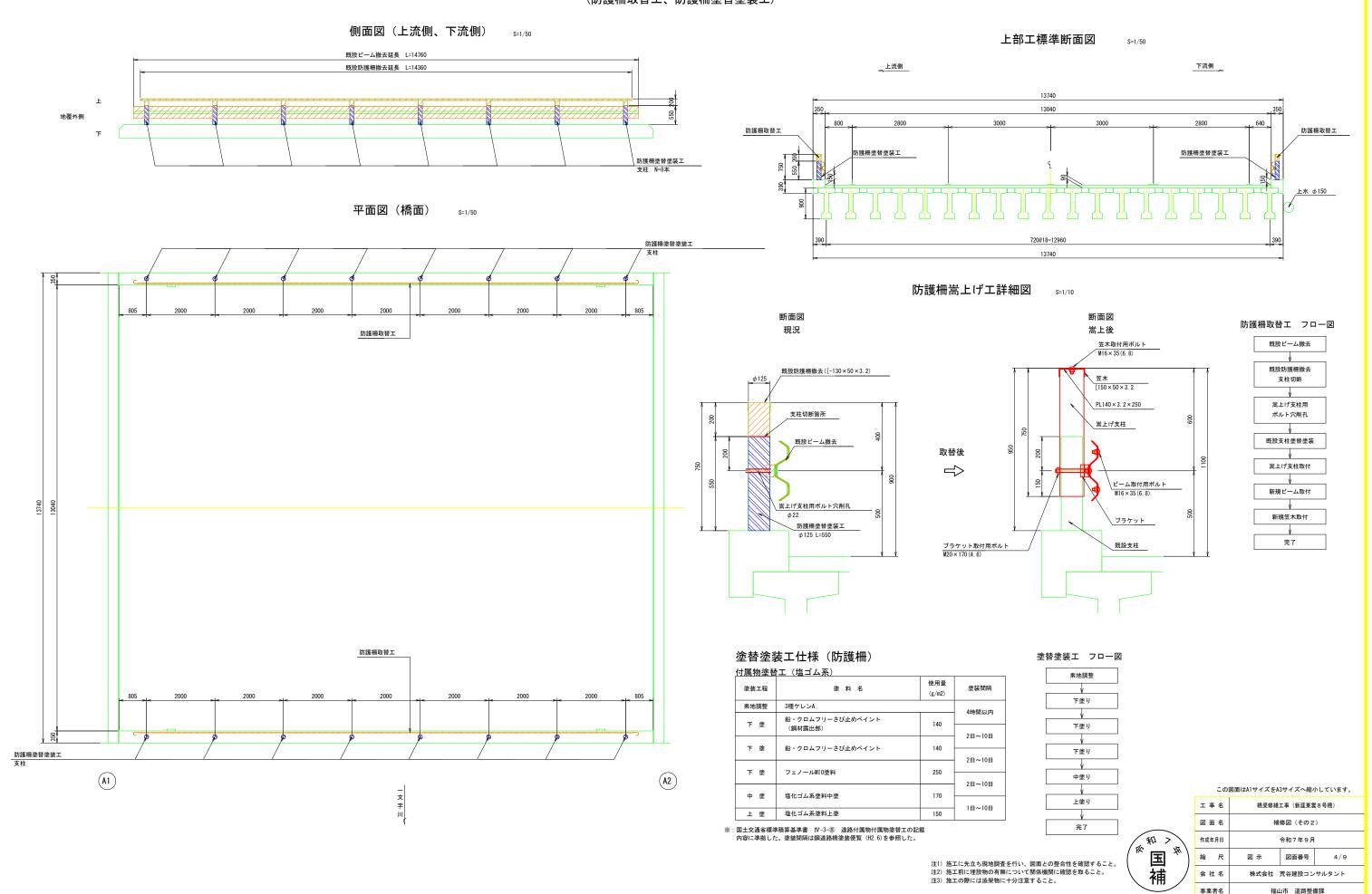
### 新涯東雲8号橋 補修図(その1) S=1/50 (舗装部分打換え工、断面修復工) 第1径間(橋面) 2 断面修復工 50×50 12断面修復工 5 断面修復工 6 断面修復工 11断面修復工 上部工標準断面図 1 断面修復工 7 断面修復工 10 断面修復工 100×100 4 断面修復工 13断面修復工 100×100 \_\_上流側\_\_ 下流側 下 地覆外側 13740 上 13040 8 断面修復工 9 断面修復工 地覆内側 舗装部分打換え工 14断面修復工 150×150 15断面修復工 100×200 上水 φ150 720@18=12960 舗装構成 橋面部 現況 舗装部分打換え工後 コンクリート舗装 (表層工 t=90mm) (デンカ スーパーコンクリート同等品) 舗装版切断工 L=0.80m t=90mm 床 版 床 版 舗装部分打換え工 断面修復工 左官工法 舗装版切断工 L=5.63m t=90mm 錆が鉄筋の裏面まで達する場合は ケレン処理が可能な深さまで、はつりとる。 舗装版切断工 L=0.80m t=90mm 脆弱部除去 カッター10mm程度 発錆部ケレン処理 鉄筋防錆材塗布 (A1) (A2) プライマー塗布 ポリマーセメントモルタル充墳 ※1)断面修復数量表を参考とし、鉄筋の腐食状況により必要深さをはつること。 18断面修復工 16断面修復工 17断面修復工 地覆内側 この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。 橋梁修繕工事 (新涯東雲8号橋) 番号 補修内容 補修図(その1) 断面修復工(左官工法) 和 > 作成年月日 令和7年9月 19断面修復工 21断面修復工 国 縮尺 図面番号 注1) 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。 注2) 施工前に埋設物の有無について関係機関に確認を取ること。 注3) 施工の際には添架物に十分注意すること。 会社名 株式会社 荒谷建設コンサルタント 20断面修復工

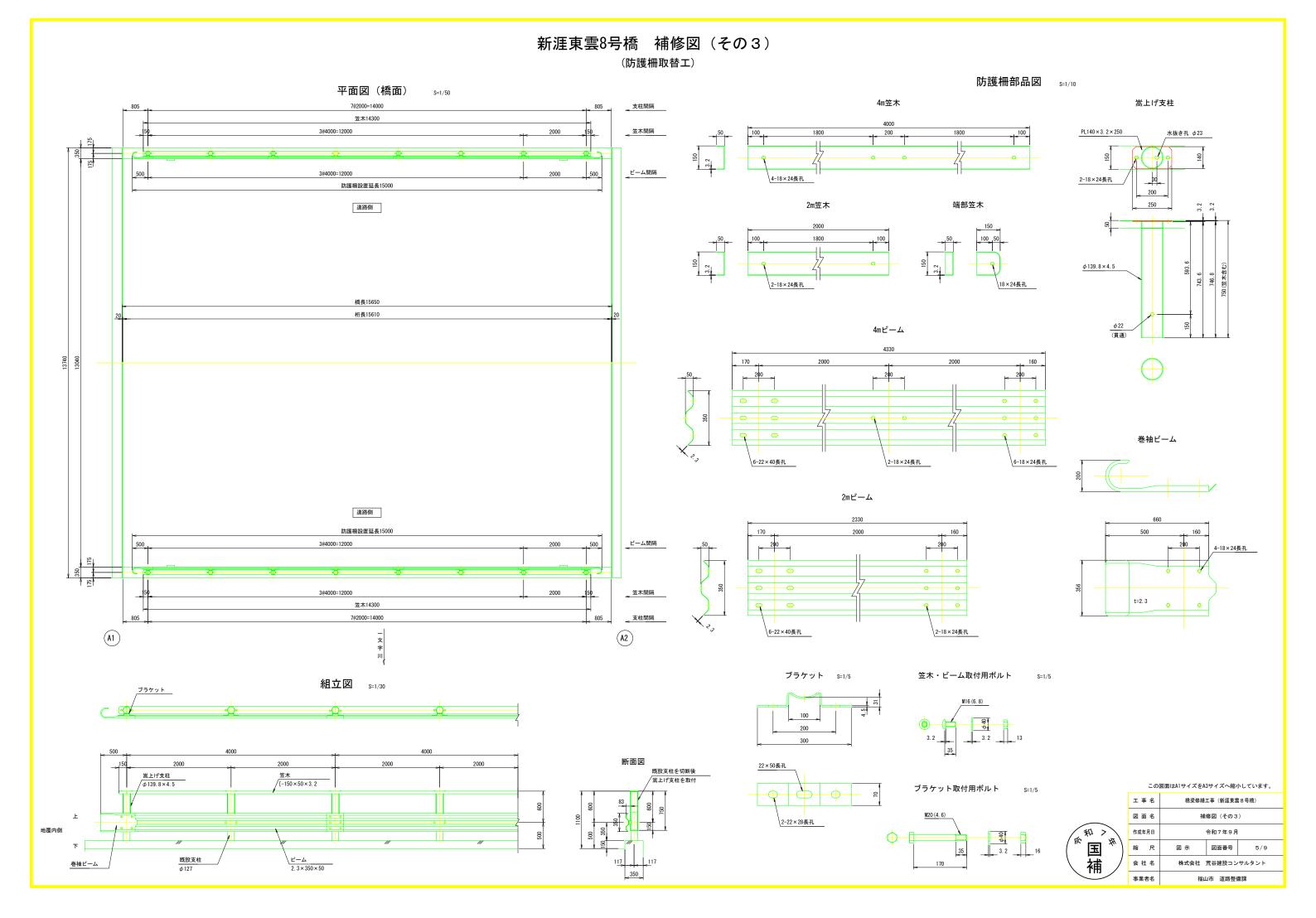
事業者名

福山市 道路整備課

### 新涯東雲8号橋 補修図(その2)

(防護柵取替工、防護柵塗替塗装工)



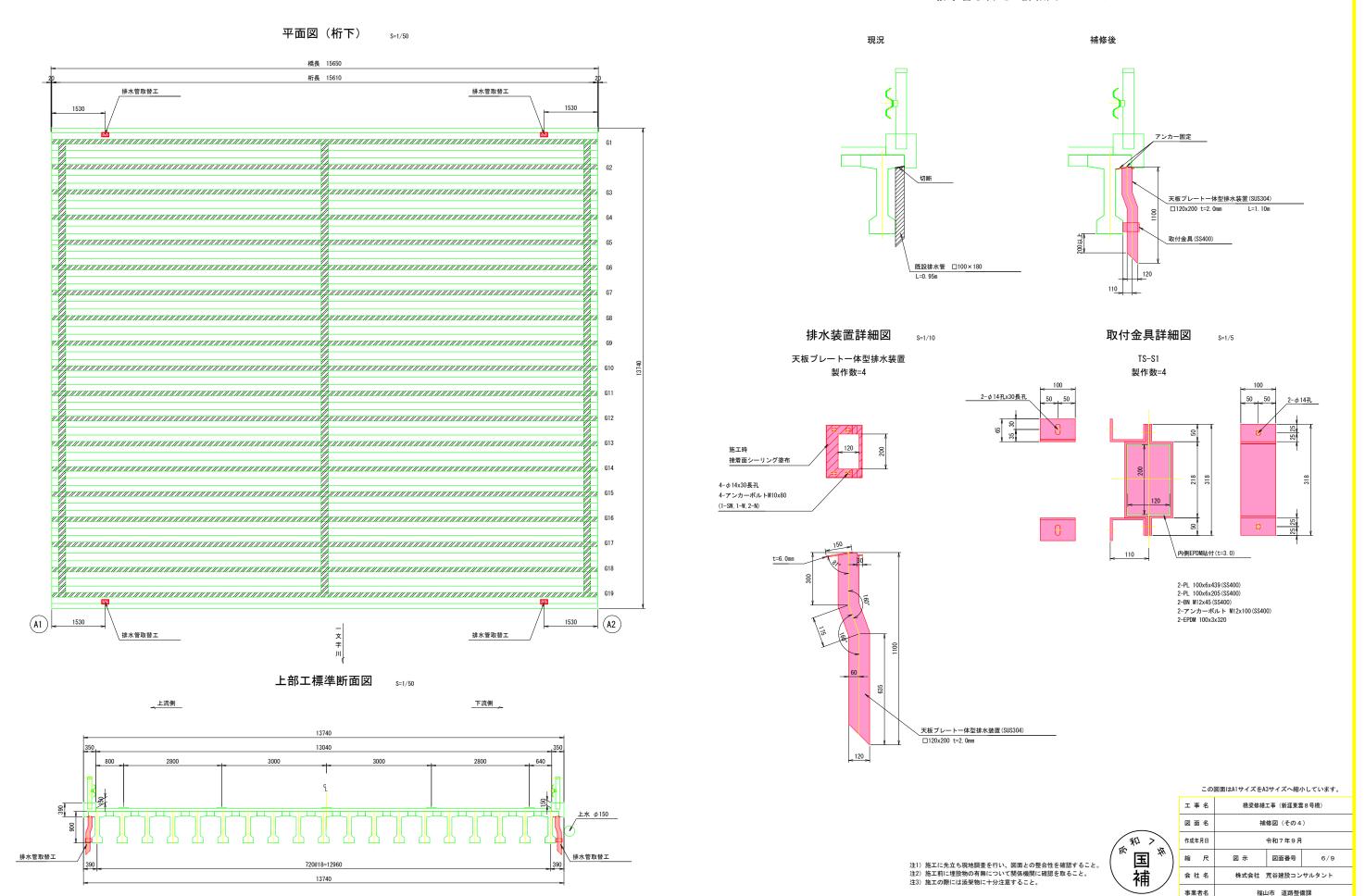


### 新涯東雲8号橋 補修図(その4)

(排水管取替工)

### 排水管取替え工詳細図

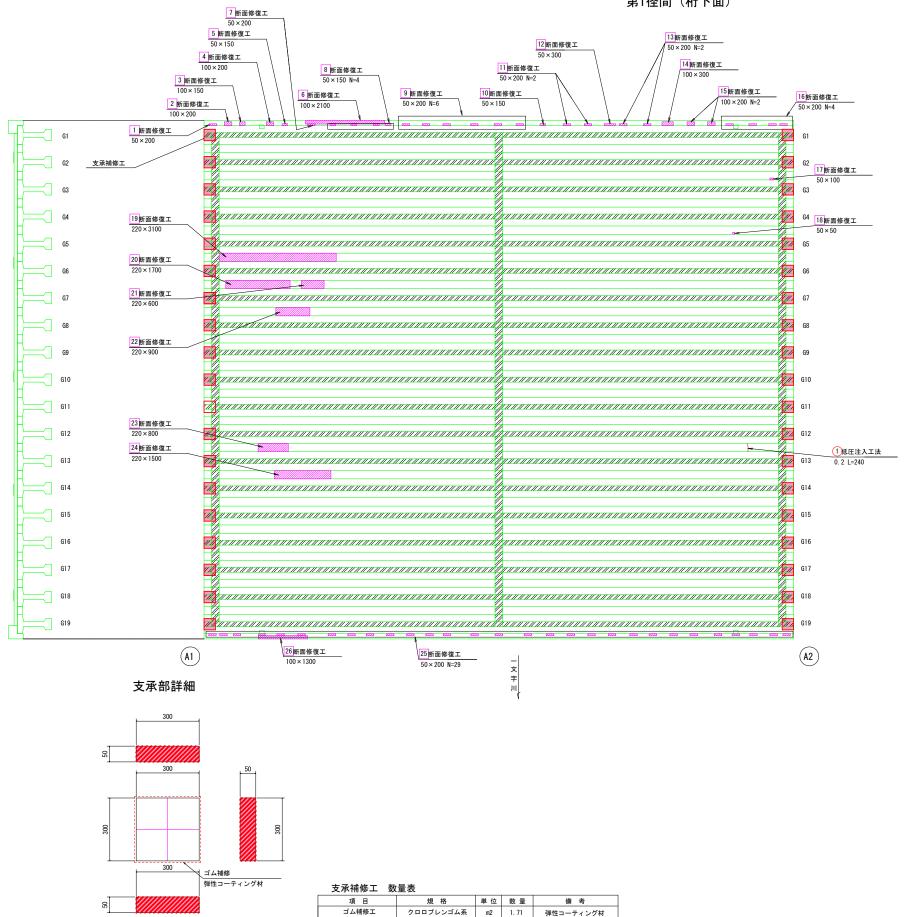
S=1/20



S=1/50

(ひび割れ補修工、断面修復工、支承補修工)

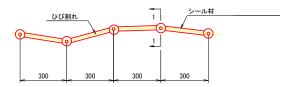
### 第1径間(桁下面)



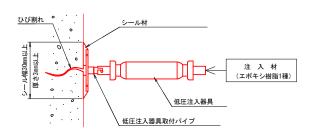
0.05m\*0.30m\*3面\*38支承=1.71m2 注1) 施工に先立ち現地調査を行い、4面の補修が可能な場合は監督員と協議すること。

### ひび割れ補修工

低圧注入工法

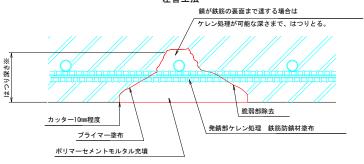


1-1 断面

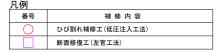


### 断面修復工

左官工法



※1) 断面修復数量表を参考とし、鉄筋の腐食状況により必要深さをはつること。



注1) 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。

注2) 施工前に埋設物の有無について関係機関に確認を取ること。 注3) 施工の際には添架物に十分注意すること。



	この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。								
	工 事 名 橋梁修繕工事 (新涯東雲8号橋)								
	図面名	図 面 名 補修図(その5)							
	作成年月日	作成年月日 令和7年9月							
)	縮尺	図示	図面番号 7/9						
/	会社名	名 株式会社 荒谷建設コンサルタント							
	事業者名 福山市 道路整備課								

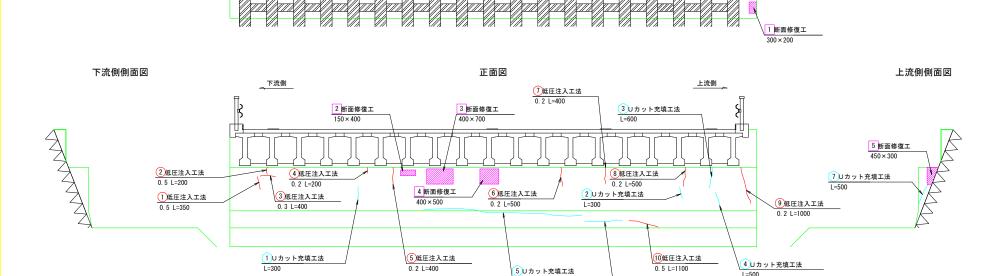
### 新涯東雲8号橋 補修図(その6)

(ひび割れ補修工、断面修復工)

S=1/50

A1橋台

平面図(桁座面)

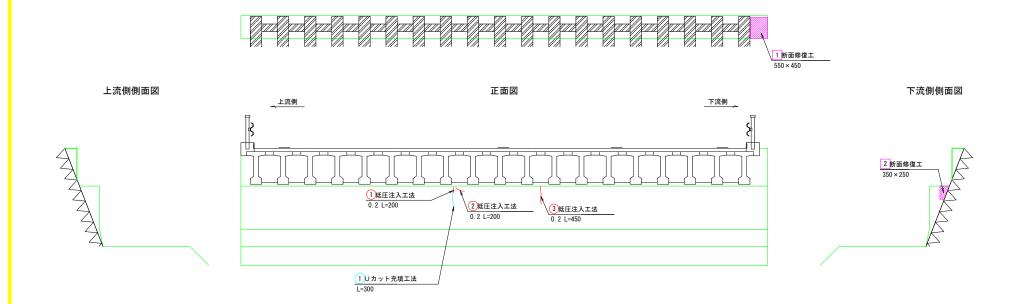


A2橋台

L=6300

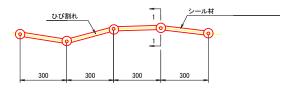
6 Uカット充填工法

平面図 (桁座面)

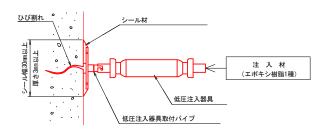


### ひび割れ補修工

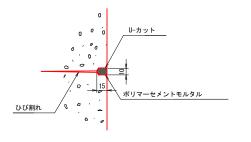
低圧注入工法



1-1 断面

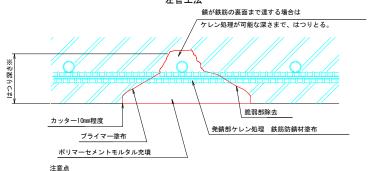


Uカット充填工法



### 断面修復工

左官工法



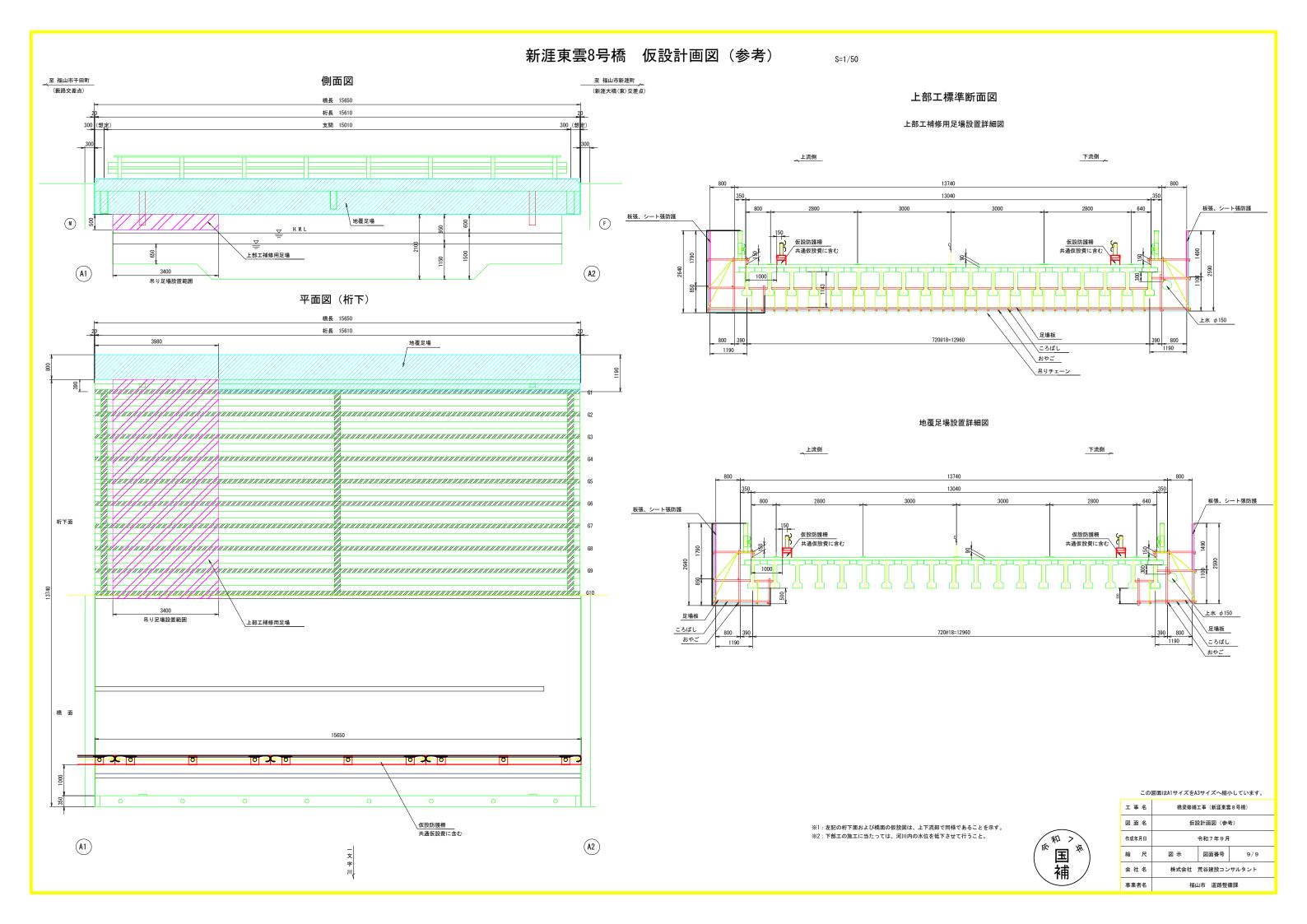
※1) 断面修復数量表を参考とし、鉄筋の腐食状況により必要深さをはつること。

番号	補 修 内 容	
$\overline{}$	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	
	ひび割れ補修工(Uカット充填工法)	
$\Box$	断面修復工(左官工法)	

注1) 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。 注2) 施工前に埋設物の有無について関係機関に確認を取ること。 注3) 施工の際には添架物に十分注意すること。

	和	>	\
( VA	国	4	Ħ
	補	月 	/

	この図面はA1サイズをA3サイズへ縮小しています。								
	工 事 名 橋梁修繕工事 (新涯東雲 8 号橋)								
	図面名	補修図 (その6)							
	作成年月日	日 令和7年9月							
	縮尺	図示	図面番号 8/9						
/	会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント							
	事業者名	福山市 道路整備課							



# 参考図書

ひび割れ補修工(充てん工法)

S1020031

単第0 -0001 表

<u> 修延べ延長20m未満の場合</u> 名称・規格など	数量	単位	単価	金額	
土木一般世話役		1 1-	1 1124	312 HX	110 3
	0.850	人			
	0.000				
特殊作業員					
13/MII SKSC	1.300	人			
	11000				
普通作業員					
	1.100	人			
ひび割れ充填材					
ポリマーセメントモルタル	3.276	kg			
充填工法用		1.5			シーカエマコS230相当品
諸雑費					#09
	17	%			
* * * 単位当たり * * *	1	構造物			
A=1 【F】充てん材(kg)			B=2.73 充てん	材の設計数量(kg/構	<b>5</b> 造物)

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

S1020035

単第0 -0002 表

名称・規格など	数量	単位	単位	<u> </u>	金額	備考	
土木一般世話役	1.500	人		-			
特殊作業員	2.400	人					
普通作業員	1.800	人					
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂系注入接着剤(1種適合品)	0.274	kg				B L グラウト相当品	
シール材 不飽和ポリエステル樹脂系シール接着剤	1.288	kg				B L シール相当品	
注入器具 補充可能型低圧注入器具	21.000	個				B L インジェクター相当品	
<b>諸</b> 雑費	6	%				#09	
*** 単位当たり ***	1	構造物					
A=2 【F】注入材(kg) C=3 【F】シール材(kg) E=4 【F】低圧注入器具(個)			B=0.274 D=0.94 F=21	シール	の必要数量(kg/構造物 対の設計数量(kg/構造 人器具の必要数量(個	<b>造物</b> )	
						·	

断面修復工(左官工法)

S1020041

単第0 -0003 表

別川161友上(生日上/女) (姓なケレン/。姓な防徳加田な今お)	31020041 延べ体積0.241m				- 単第0 -0003 表 
( <u>鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復</u> 名称・規格など	<u> 数量</u> 数量	単位	単価	金額	横考
土木一般世話役	6.748	人	——————————————————————————————————————	32 HZ	IM 3
特殊作業員	12.773	人			
普通作業員	6.748	人			
断面修復材 ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	0.284	m3			シーカエマコS990相当品
諸維費	8	%			#09
   * * * 単位当たり * * *	1	構造物			
A=0.241 1構造物当り修復延べ体積(m3/構 C=0.241 断面修復材の設計数量(m3/構造物	造物) 勿)		B=5 【F】断	面修復材(m3)	

コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)

S1020051

単第0 -0004 表

<u> </u>	<u> 搬距離 4.0km以下</u> 数量	単位	単価	金額	10 m3 備考
普通作業員			—— III	202 HX	III J
	1.299	人			
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル・4t積級	0.440				単第0-0005 表
	0.440	日			
者雑費	1	式			
	'	10			
* * * 合計 * * *	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
			B=24 運搬距		‡D \
A=2 [有]DID区間 C=1 路面状況:良好			D=24 建掀起		色)

ダンプトラック運転

S9050

単第0 -0005 表

ンロード・ディーゼル・4 t 積級	00000				<b>4330</b> 0000 <b>4</b> 0	1 🖯	当!
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備者		
軽油							
パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.20	L					
運転手(一般)							
	0.89	人					
デンプトラック							
オンロード・ディーゼル	1.02	供用日					
4t 積級							
タイヤ損耗費							
ダンプトラック 4 t (良)	1.02	供用日					
者維費							
	1	式					
* * * 単位当たり * * *	1	日					
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	'						
A=2 オンロード・ディーゼル・4 t	積級		B=0.89 運転労	務数量 (人/日)			
C=19.2 軽油消費量 (L/日)			D=1.02 機械損	料数量 (供用日/1日)			
E=1 路面状況:良好			F=1				
G=0 労務単価の夜間等割増率							
_							

足場損料

諸雑費

A=2

S3030011 単第0 -0006 表 名称・規格など 数量 単位 単価 金額 備考 橋りょう特殊工 0.130 人 0.900 月 式 1 \* \* \* 単位当たり \* \* \* 1 m2 主体足場を架設している供用月数(月) 桁高1.5m未満 B=0.9

足場・防護 SPK25040337 単第0 -0007 表 当り シート+板張 1工事での足場使用1回 足場架設総月数0.5月を超え1.0月以下 標準単価: 5,490.80000 0.00% 単価(積算地区) 代表機労材規格(東京地区) 備考 代表機労材規格(積算地区) 構成比 単価(東京地区) 橋りょう特殊工 橋りょう特殊工 RTPC00020 RTPT00020 93.48% その他(労務) ER009 その他(労務) 積算単価 積算単価 EP001 A=2 シート+板張 1工事での足場使用1回 C=2 足場架設総月数0.5月を超え1.0月以下

素地調整 防護柵類 SPK25040312 単第0-0008 表

当り m2

城構成比: 0.00% 労務 代表機労材規格(積算地	構成比: 100.00% <u>*</u> 区) 構成比	材料構成比: 0.00% │ 単価(積算地区) │	市場単価構成比: 0.00% 代表機労材規格(東京地区)	標準単価: 単価(東京地区)	1,347. 備考
		于叫(有界地区)	整装工 (花娥为初祝僧(宋宗地区)	于叫(朱示地区)	RTPC00013
	97.09%				RTPT00013
か他(労務)		=	その他(労務)		ER009
算単価		利	<b>責算単</b> 価		EP001
A=4 防護柵類			C=1 -(全ての費用)		

付属構造物塗替

SPK25040313

単第0-0009 表

鉛・クロムフリー錆止めペイント 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類 1 m2 当り機械構成比: 0.00% 労務構成比: 92.40% 材料構成比: 7.60% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,191.30000

機械構成比: 0.00%	2.40% 材	料構成比: 7.6	60% 市均	易単価構成比:	0.00%	標準単価:	1,191.30000
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	<b></b>	代表機労材規格(	東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	90.59%		塗装工				RTPC00013 RTPT00013
	90.39%						K11 100013
その他(労務)			その他(労	務)			ER009
鉛・クロムフリーさび止めペイント	7.60%		鉛・クロム	ムフリーさび止め	ペイント		TTPC00386 TTPT00386
<b>積算単価</b>			積算単価				EP001
A=1 鉛・クロムフリー錆止めペイン G=1 -(全ての費用)	ト 下塗 淡彩		C=4	防護柵類	・落石防止柵類		

**计层进**选协会转

属構造物塗替 SPK2504031			単第0 -	0010 表		
フェノール樹脂MIO塗装 下塗 淡彩	防護柵類・落石			1	m2 当り	
機械構成比: 0.00% 労務構成比:		料構成比: 16.6		標準単価:	1,321.20000	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
塗装工	81.69%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013	
その他(労務)			その他(労務)		ER009	
中・上塗り_フェノール樹脂系MIO塗料 中塗・上塗用,色(グレー)	16.68%		フェノール樹脂MIO塗料		TTPC00068 TTPT00068	
積算単価			<b>積算単価</b>		EP001	
A=2 フェノール樹脂MIO塗装 7 G=1 - (全ての費用)	下塗 淡彩		C=4 防護柵類・落石防止柵類			

付属構造物塗替 単第0 -0011 表 SPK25040313 塩化ゴム系塗料 中塗 白色 当り 防護柵類・落石防止柵類 材料構成比: 12.79% 市場単価構成比: 標準単価: 1,262.20000 0.00% 87.21% 代表機労材規格(積算地区) 構成比 単価(積算地区) 代表機労材規格(東京地区) 単価(東京地区) 備考 塗装工 塗装工 RTPC00013 RTPT00013 85.51% その他(労務) ER009 その他(労務) 中・上塗り 塩化ゴム系塗料 塩化ゴム系塗料 TTPCD0179 12.79% 中塗用 淡彩色 TTPT00071 中塗用,白 積算単価 積算単価 EP001 塩化ゴム系塗料 中塗 白色 A=16 C=4 防護柵類・落石防止柵類 G=1 - (全ての費用)

付属構造物塗替 単第0 -0012 表 SPK25040313 当り 塩化ゴム系塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類 材料構成比: 12.30% 市場単価構成比: 標準単価: 1,255.20000 0.00% 87.70% 備考 代表機労材規格(積算地区) 構成比 単価(積算地区) 代表機労材規格(東京地区) 単価(東京地区) 塗装工 塗装工 RTPC00013 RTPT00013 85.99% その他(労務) ER009 その他(労務) 中・上塗り 塩化ゴム系塗料 塩化ゴム系塗料 TTPCD0191 上塗用 淡彩色 12.30% TTPT00072 上塗用,白 積算単価 積算単価 EP001 塩化ゴム系塗料 上塗 白色 A=30 C=4 防護柵類・落石防止柵類 G=1 -(全ての費用)

橋梁 排水管設置

SPK25040409

単第0 -0013 表

<b>尚采_排小官议直</b>	SPK25040409	単第0	-0013 表	
足場有り	400 00% ++WV+#++* -	0.00%	1	m 当り
幾械構成比: 0.00% 労務構成比: 代表機労材規格(積算地区)			標準単価: 単価(東京地区)	5,323.40000 備考
特殊作業員	47.34%	特殊作業員	丰岡(未示地区)	RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.05%	普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.12%	土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)		その他(労務)		ER009
積算単価		<b>積算単価</b>		EP001
A=2 足場有り				

コンクリートアンカーボルト設置 あと施工アンカー(各種)

SPK25040408

単第0 -0014 表

本 当り

幾械構成比: 0.00% 労務構成比: 9 代表機労材規格(積算地区)	3.00% 材 構成比	料構成比: 7.0 単価(積算地区)	00% 市場単価構成比: 0.00%	標準単価:	1,512.40 備考
	作のない	半训(很异地区)	│────────────────────────────────────	半個(宋尔地区)	7相传 RTPC00001
<b>竹が下来</b> 臭	46.81%		付外  未良		RTPT00001
土木一般世話役			土木一般世話役		RTPC00009
	22.54%				RTPT00009
普通作業員	21.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
	Z1.03%				N1P100002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
材料別途			あと施工アンカー		F0000000099
	6.87%		芯棒打込み式 M12		TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
看算単価					EP001
[東 <b>井</b>			作字子		LFOOT
A=2 足場有り (土)			B=4 あと施工アンカー(各種)		
D=99 【F】あと施工アンカー(本)					

舗装部分打換え工

V0002

単第0 -0015 表

=90mm			デンカ	スーパーコンクリー	· ト同等品 1 箇所 当I
名称・規格など	数量	単位	単価	スーパーコンクリー 金額	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) 人力打設	0.4	m3			単第0-0016 表
超速硬コンクリート 1回打設最低保証1.0m3	1	m3			デンカスーパーコンクリート同等品
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0016 表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) 幾械構成比: 0.00% 労務構成比:	人力打設 26.35% 材	<sup>†</sup> 料構成比: 73.0	65% 市場単価構成比: 0.00%	1 標準単価:	m3 当「 29,644.0000
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	11.13%	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	普通作業員	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
材料別途	73.65%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000098 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=4 コンクリート(各種) F=1 養生工無し J=1 -			B=3 人力打設 D=98 【F】コンクリート(m3) H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)		

防護柵撤去工 SPK25040122

単第0 -0017 表

機械構成比: 5.42% 労務構成比: 5 代表機労材規格(積算地区)	93.02% 材 構成比	:料構成比: 1.56 ■ 単価(積算地区) □	<u>6% 市場単価構成比: 0.00%</u> 代表機労材規格(東京地区)	標準単価: 単価(東京地区)	1,549.100 備考
トラック	1円/パスレし	╆┉╷╖╪┸╚ <i>╚╽</i>	トラック	十四(木小心区)	MTPC00021
クレーン装置付	5.42%		クレーン装置付		MTPT00021
ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t			ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t		
溶接工	33.35%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
	33.33%				K11 100019
			特殊作業員		RTPC00001
	27.89%				RTPT00001
			土木一般世話役		RTPC00009
	15.26%				RTPT00009
			運転手(特殊)		RTPC00006
	14.23%				RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油			軽油パトロール給油		TTPC00013
パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.56%				TTPT00013
看算単価 積算単価			積算単価		EP001

頁0 -0028

当り

防護柵撤去工(Gr) レール撤去

SS000129

単第0 -0018 表

<u> 洛側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)</u>			1		1 m 当
各側用_A·B·C種(旧_Ap·Bp·Cp種) 名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
部材撤去【手間のみ】					
レール撤去	1.000	m			
A,B,C(Ap,Bp,Cp)					
A,B,C(Ap,Bp,Cp) 諸雑費					
	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
	0 15)				
A=2 路側用_A・B・C種(I日_Ap・Bp	・Cp種)		B=1 -		
C=1 -					

排水管撤去工

V0001

単第0 -0019 表

10 m   10 m	
土木一般世話役     0.2     人       特殊作業員     0.5     人       普通作業員     0.3     人       諸雑費     2     %       *** 合計 ***     10     m	当じ
0.5     人       普通作業員     0.3     人       諸維費     2     %       **** 合計 ***     10     m	
13     人       14     2     %       **** 合計 ***     10     m	
2 %	
*** 単位当たり *** 1 m	

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0020 表

		斗構成比: 35.95%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	1,264.8000
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(	東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級プレード径 56cm	8.92%		ンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型 切削深20㎝級ブレード径			MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)		₹(	の他(機械)			EK009
特殊作業員	17.37%	特	殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%	±:	木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%	普	通作業員			RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)		₹(	の他(労務)			ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		ンクリートカッタブレー 径18インチ	۴		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	2.45%	<u>ガ</u>	ソリンレギュラースタン	۴		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)		₹(	の他(材料)			EZ009

舗装版切断

SPK25040307

単第0-0020 表

頁0 -0032

コンクリート舗装版 機械構成比: 13 コンクリート舗装版厚15cm以下 50.94% 材料構成比: 3 兴级基式 比. 古担労価雄式 4・ 0 00% 神 進 出 価・

機械構成比:	13.11%	50.94% 材	·料構成比: 35.9	95% 市場	易単価構成比:	0.00%	標準単価:	1,264.80000
<b>一</b> 代	<b>法表機</b> 労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)		代表機労材規格(	東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価				積算単価				EP001
A=2	コンクリート舗装版			C=1	コンクリー	- 卜舗装版厚15cm以下		
E=1	- (全ての費用)				7///	I HIDECHINIA-100m-XV		
'	(工 ( 0 頁/11 )							

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

単第0 -0021 表

<u>機械施工</u>					1	m3 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考	
名称・規格など 昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3				
諸雑費	1	式				
   * * * 単位当たり * * *	1	m3				
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施. D=1 時間的	制約なし		

殼運搬

SPK25040155

単第0-0022 表

当り Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

	44.82% 材	料構成比: 14.4	11% 市場単価構成比: 0.00%	標準単価:	3,317.70000
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]   10t積級   (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価 			積算単価 		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

単第0 -0023 表

現場発生品及び支給品運搬 SPK25040411 クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊 片道運搬距離1.5km以下 当り

		<b>材構成比: 3.80</b> %		0.00%	標準単価:	870.07000
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(	東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック	47 200/		・ラック			MTPC00021
クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	17.30%		クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積	ミワシン ひょ		MTPT00021
ベーストフック4~4.5t傾巾能/J2.9t			ベーストノック4~4.51傾	東市能力2.91		
運転手(特殊)		ì	<b>転手(特殊)</b>			RTPC00006
	39.87%		-1-15 (1571)			RTPT00006
#+ 74 /6-34 G		4-	+ T+ 1- W =			DTDOOOOA
特殊作業員	20. 02%	1	持殊作業員			RTPC00001
	39.03%					RTPT00001
軽油		車	経油パトロール給油			TTPC00013
パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.80%					TTPT00013
   積算単価		<b>1</b>				EP001
復昇半		<b>竹</b> 5	<b>東宇</b> 迦			EPUUT
A=2 クレーン装置付BT4~4.5t積2.	9t 吊		B=2 DID区間有	IJ		
C=1 片道運搬距離1.5km以下						

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊

SPK25040412

単第0 -0024 表

t 当り

1

《械構成比:  17.23%	78.98% 材 構成比	料構成比: 3.7 単価(積算地区)	9% 市場単価構成比: 0.00%	標準単価: 単価(東京地区)	10,110.000 備考
1\衣機ガ材規恰(傾昇地区 <i>)</i> トラック	作り入し	宇训(傾昇地区)		半洲(宋尔地区)	MTPC00021
・フラッ クレーン装置付	17.23%		インティークリン クレーン装置付		MTPT00021
ブレープ級量円 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	17.25/0		ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t		W11 100021
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RTPC00006
	39.73%				RTPT00006
寺殊作業員	20.07%		特殊作業員		RTPC00001
	38.87%				RTPT00001
			その他(労務)		ER009
この他(分務)			ての他(分務)		EKUU9
圣油			軽油パトロール給油		TTPC00013
パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.79%				TTPT00013
責算単価			積算単価		EP001
A=2 クレーン装置付BT4~4.5t積2	) 이t모				
ハーム プレン衣目がいする。					

# 数量計算書

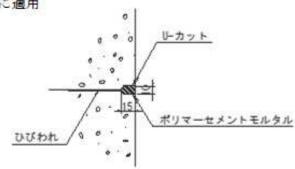
			本 :	工事総括表							
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5		計	算	計	上		
	工種	種別	細別	規格	単位	数	量	数	量	摘	要
橋梁保全工事											
	橋梁補修工										
		ひび割れ補修工									
			充てん工法	ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	構造物		1		1		
			低圧注入工法	ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	構造物		1		1		
		断面修復工									
			左官工法	断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.241m3	構造物		1		1		
				コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	m3	(	0. 2	(	0. 2		
				コンクリート塊受入費 再生工場搬入 無筋	t	(	0.6	(	0.6		
			足場	足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	m2	46	5. 7		50		
				足場・防護 シート+板張 1工事での足場使用1回 足場架設総月数0.5月を超え1.0月以下	m2	34	1. 5		30		
		支承補修工		AC SOUTH AND A SOU							
			支承補修	ゴム支承用耐候性表面保護	式		1		1	A=1. 7	71m2
	現場塗装工										
		道路附属構造物塗装工									
			素地調整	素地調整 防護柵類	m2	3	3. 4		3		
			下塗	付属構造物塗替 鉛・クロムフリー鯖止めペイント 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類	m2	3	3. 4		3		
				付属構造物塗替 鉛・クロムフリー鲭止めペイント 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類	m2	3	3. 4		3		
				付属構造物塗替 フェノール樹脂MIO塗装 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類	m2	3	3. 4		3		
			中塗	付属構造物塗替 塩化ゴム系塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	m2	3	3. 4		3		
			上塗	付属構造物塗替 塩化ゴム系塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	m2	3	3. 4		3		
	橋梁付属物工										
		排水施設工									
			橋梁_排水管設置	足場有り	m	4	1. 4		4		
			コンクリートアンカーボルト設置		本		16		16		
			材料費(排水管)	天板プレート一体型排水装置、シール材 アンカー、取付金具含む	式		1		1		
		橋梁用防護柵工									
			橋梁用防護柵	橋梁用防護柵設置工 L=30.0m	式		1		1		
	舗装工										
		舗装打換え工									
			舗装部分打換え工	t=90mm デンカスーパーコンクリート同等品	箇所		1		1		
	構造物撤去工										
		防護柵撤去工									
			防護柵撤去	防護柵撤去工	m	28	3. 7		29		
				防護柵撤去工(Gr) レール撤去	m	29	9. 5		30		

		本:	工 事 総 括 表				
	排水構造物撤去工						
		排水管撤去	排水管撤去工	m	3.8	4	
	構造物取壊し工						
		舗装版切断	コンクリート舗装版厚15cm以下	m	7. 2	7	
		舗装版破砕	構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	m3	0.4	0.4	
	運搬処理工						
		殼運搬	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	m3	0.4	0.4	
		殼処分	コンクリート殻受入費 再生工場搬入 無筋	t	1.0	1	
		現場発生品運搬	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊 片道運搬距離 1.5km以下	t	0.53	0. 53	0. 476t+0. 050t
			現場発生品及び支給品 積込み・荷卸しクレーン装置付BT4~4.5t積2.9t吊	t	0. 53	0. 53	
			スクラップ 鉄屑 (ヘビーH3)	t	0. 53	0. 53	

#### 2.1 ひび割れ補修工

#### (1) Uカット充填工

ひび割れ幅 1.0mm~5.0mm 遊離石灰を伴うひび割れに**適用** 



#### ・Uカット充填工法集計表

種類	仕様・規格	単位	下部工	合計	備考
ひび割れ充填工	Uカット充填	m	9.80	9.80	
充填材	ポリマーセメントモルタル	kg	2.730	2. 730	ロス率20%→3. 276kg

#### 1) 下部工

・Uカット充填工法延長(ひび割れ延長)

L = 9.50 + 0.30

= 9.80 m

充填材(ポリマーセメントモルタル) 比重:2.00

	断面積											重量(kg)
(	0.01	×	0.01	+	0.005	X	0.005	×	$\pi$	×	1/2 )	
×	9.80	×	2000									2.730
	延長(m)		(kg/m3)									
					合	計						2. 730

### ①A1橋台

径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m)	X	箇所数	延長(m)
	堅壁	1	ı	0.30	×	1	0.30
	堅壁	2	-	0.30	×	1	0.30
	堅壁	3	-	0.60	×	1	0.60
A1橋台	堅壁	4	-	0.50	×	1	0.50
	堅壁	5	-	6.30	×	1	6.30
	堅壁	6	-	1.00	×	1	1.00
	堅壁	7	-	0.50	×	1	0.50
		合	計				9. 50

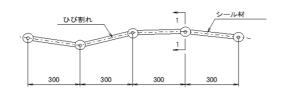
### ②A2橋台

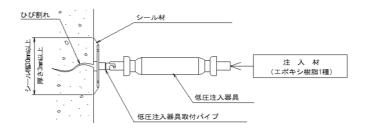
径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m)	X	箇所数	延長(m)
A2橋台	堅壁	1	1	0.30	×	1	0.30
		合	計				0.30

#### (2) 低圧注入工法

ひび割れ幅 0.2mm以上~1.0mm未満

#### 1-1 断面





### • 低圧注入工法集計表

種類	仕様・規格	単位	上部工	下部工	合計	備考
ひび割れ注入工	低圧注入工法	m	0. 24	5. 90	6. 14	
注入材	エポキシ樹脂1種	kg	0.006	0. 190	0. 196	ロス率40%→0. 274kg
シール材		kg	0.037	0.903	0.940	ロス率37%→1. 288kg
注入器具	_	個	1	20	21	

#### 1) 上部工

・ひび割れ延長

L = 0.24

= 0.24 m

#### ・注入工法

注入材(エポキシ樹脂1種) 比重:1.15 (ひび割れ幅は、平均値を使用する。)

I	平均幅	深さ	延長(m) (kg/m3)	重量(kg)
ſ	0.0002 ×	0.20 ×	$1/2 \times 0.24 \times 1150$	0.006
I			合 計	0.006

### シール材 比重:1.70

幅			厚さ			延長(m)		(kg/m3)	重量(kg)
0.0	3	×	0.003		×	0.24	×	1700	0.037
				合	計				0.037

・低圧注入器具 300mmピッチ

N = 0.24 / 0.30 = 0.8

= 1 個

#### 修復数量表

N = N								
部材区分	径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m)	×	箇所数	延長(m)
上部工	第1径間	床版	1	0. 20	0.24	×	1	0. 24
		ф	畐平均	0.20			合計	0. 24

### 2) 下部工

・ひび割れ延長

L = 5.90

・注入工法

注入材(エポキシ樹脂1種) 比重:1.15 (ひび割れ幅は、平均値を使用する。)

平均幅	深さ	延長(m) (kg/m3)	重量(kg)
0.00028 ×	0.20 ×	$1/2 \times 5.90 \times 1150$	0. 190
		合 計	0. 190

シール材 比重:1.70

幅	厚さ	延長(m) (kg/m3)	重量(kg)
0.03	× 0.003	$\times$ 5. 90 $\times$ 1700	0.903
		合 計	0.903

・低圧注入器具 300mmピッチ

N = 5.90 / 0.30 = 19.7

= 20 個

= 5.90 m

### 修復数量表

部材区分	径間	部位	番号	幅(mm)	長さ(m)	×	箇所数	延長(m)
		竪壁	1	0.50	0.35	X	1	0.35
		竪壁	2	0.50	0.20	×	1	0. 20
		竪壁	3	0.30	0.40	×	1	0.40
		竪壁	4	0.20	0.20	×	1	0. 20
	A1橋台	竪壁	5	0.20	0.40	×	1	0.40
	A1/间 口	竪壁	6	0.20	0.50	×	1	0.50
下部工		竪壁	7	0.20	0.40	×	1	0.40
		竪壁	8	0.20	0.50	×	1	0.50
		竪壁	9	0.20	1.00	×	1	1.00
		竪壁	10	0.50	1. 10	×	1	1. 10
		竪壁	1	0.20	0.20	×	1	0. 20
	A2橋台	竪壁	2	0.20	0.20	×	1	0. 20
		竪壁	3	0.20	0.45	×	1	0.45
		ф	畐平均	0.28		•	合計	5. 90

### 2.2 断面修復工

#### 左官工法

### ·断面修復工集計表

種類	仕様・規格・単位		上部工	下部工	橋面	合計
断面修復工		m3	0. 144	0.054	0.043	0. 241
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	m3		ロス率18%	ó→0. 284m3	
コンクリート殻運搬処分	運搬 (処分)	m3	_	_	_	0. 241
コングリート放連撤処力	処分	t	_	_	_	0.566

### 修復数量表

①上部工

種類	径間	如 /士	番号	幅		長さ		想定深さ		箇所数	体積(m3)
種類	径間	部 位	番写	(m)		(m)		(m)			
鉄筋露出		地覆	1	0.05	X	0.20	×	0.050	×	1	0.0005
鉄筋露出		地覆	2	0.10	X	0.20	×	0.050	×	1	0.0010
鉄筋露出		地覆	3	0.10	X	0.15	×	0.050	×	1	0.0008
鉄筋露出		地覆	4	0.10	X	0.20	×	0.050	×	1	0.0010
鉄筋露出		地覆	5	0.05	X	0.15	×	0.050	×	1	0.0004
鉄筋露出		地覆	6	0.10	X	2.10	×	0.050	×	1	0.0105
鉄筋露出		地覆	7	0.05	X	0.20	×	0.050	×	1	0.0005
鉄筋露出		地覆	8	0.05	X	0.15	×	0.050	×	4	0.0015
鉄筋露出		地覆	9	0.05	X	0.20	×	0.050	×	6	0.0030
鉄筋露出		地覆	10	0.05	X	0.15	×	0.050	×	1	0.0004
鉄筋露出		地覆	11	0.05	X	0.20	×	0.050	×	2	0.0010
鉄筋露出		地覆	12	0.05	X	0.30	X	0.050	×	1	0.0008
鉄筋露出	第1径間	地覆	13	0.05	X	0.20	X	0.050	X	2	0.0010
鉄筋露出	和工工间	地覆	14	0.10	X	0.30	×	0.050	×	1	0.0015
鉄筋露出		地覆	15	0.10	X	0.20	X	0.050	×	2	0.0020
鉄筋露出		地覆	16	0.05	X	0.20	X	0.050	X	4	0.0020
木片		床版	17	0.05	X	0.10	×	0.050	×	1	0.0003
剥離		床版	18	0.05	X	0.05	×	0.050	×	1	0.0001
豆板		床版	19	0.22	X	3. 10	×	0.050	×	1	0.0341
豆板		床版	20	0.22	X	1.70	×	0.050	×	1	0.0187
豆板		床版	21	0.22	X	0.60	×	0.050	×	1	0.0066
豆板		床版	22	0.22	X	0.90	X	0.050	×	1	0.0099
豆板		床版	23	0.22	X	0.80	×	0.050	X	1	0.0088
豆板		床版	24	0.22	X	1.50	×	0.050	X	1	0.0165
鉄筋露出		地覆	25	0.05	X	0.20	×	0.050	X	29	0.0145
鉄筋露出		地覆	26	0.10	X	1.30	X	0.050	X	1	0.0065
			Î	合 計	- <u>-</u>						0. 1439

②下部工

	/T 88	-t-17 /-t-	- TF □	幅		長さ		想定深さ		箇所数	体積(m3)
種類	径間	部 位	番号	(m)		(m)		(m)			
欠損		桁座面	1	0.30	×	0.20	×	0.050	×	1	0.0030
うき		竪壁	2	0.15	X	0.40	×	0.050	×	1	0.0030
剥離	A1橋台	竪壁	3	0.40	X	0.70	×	0.050	×	1	0.0140
剥離		竪壁	4	0.40	X	0.50	×	0.050	×	1	0.0100
欠損		竪壁	5	0.45	X	0.30	×	0.050	×	1	0.0068
うき	A2橋台	桁座面	1	0.55	X	0.45	×	0.050	×	1	0.0124
うき	AZ作品 口	竪壁	2	0.35	×	0.25	×	0.050	×	1	0.0044
			î	合 計	_						0.0536

③橋面

<u>③</u> 橋面											
種類	径間	部位	五番号	幅		長さ		想定深さ		箇所数	体積(m3)
				(m)		(m)		(m)			
鉄筋露出	L L	地覆	1	0.05	×	0.05	X	0.050	×	1	0.0001
鉄筋露出	납	地覆	2	0.05	×	0.05	X	0.050	×	1	0.0001
鉄筋露出	L	地覆	3	0.05	×	0.05	X	0.050	×	1	0.0001
鉄筋露出	Ц	地覆	4	0.05	X	0.05	×	0.050	×	1	0.0001
うき		地覆	5	0.10	X	0.30	×	0.050	×	1	0.0015
鉄筋露出	Ц	地覆	6	0.15	X	0.05	×	0.050	×	1	0.0004
鉄筋露出	Ц	地覆	7	0.10	X	0.10	×	0.050	×	1	0.0005
剥離		地覆	8	0.10	X	0.10	×	0.050	×	1	0.0005
うき		地覆	9	0.10	X	0.15	X	0.050	×	1	0.0008
剥離		地覆	10	0.10	X	0.10	X	0.050	×	1	0.0005
鉄筋露出	出 第1径間	地覆	11	0.15	X	0.10	X	0.050	×	1	0.0008
鉄筋露出	L	地覆	12	0.15	X	0.10	X	0.050	×	1	0.0008
剥離		地覆	13	0.10	X	0.10	X	0.050	×	1	0.0005
うき		地覆	14	0.15	X	0.15	X	0.050	×	1	0.0011
鉄筋露出	납	地覆	15	0.10	X	0.20	X	0.050	×	1	0.0010
鉄筋露出	납	地覆	16	0.15	X	0.85	X	0.050	×	1	0.0064
鉄筋露出	납	地覆	17	0.15	X	1.20	X	0.050	×	1	0.0090
鉄筋露出	L	地覆	18	0.15	X	2.00	X	0.050	×	1	0.0150
鉄筋露出	법	地覆	19	0.15	X	0.45	X	0.050	×	1	0.0034
鉄筋露出	L	地覆	20	0.05	X	0.05	X	0.050	X	1	0.0001
鉄筋露出	<del>법</del>	地覆	21	0.05	X	0.05	×	0.050	X	1	0.0001
		i	<u> </u>	合 言	+						0. 0428

#### 2.3 仮設工

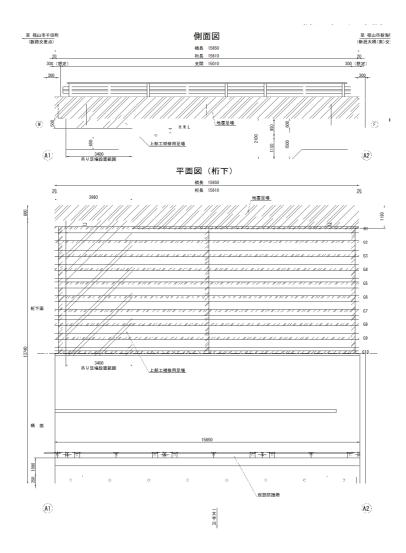
#### 吊り足場

1) 主体足場

$$A = 13.74 \times 3.40 = 46.72 \text{ m}2$$

2) 地覆足場 (板張り・シート張防護)

$$A = 1.19 \times 15.61 - 0.39 \times 3.40 = 17.25 m2$$
  
 $A = 1.19 \times 15.61 - 0.39 \times 3.40 = 17.25 m2$   
 $= 34.50 m2$ 



### 2.4 防護柵塗装塗替工

	途装面積	単位	防護柵	合計
	<b>空</b> 表	m2	3.46	3.46
素地調整工	3種ケレン A	m2	3.46	3.46
下途	鉛・クロムフリーさび止めペイント	m2	3.46	3.46
上	0.14 kg/m2	kg	0.48	0.48
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	m2	3.46	3.46
上	0.14 kg/m2	kg	0.48	0.48
下途	フェノールMIO塗料	m2	3.46	3.46
上	0.25 kg/m2	kg	0.87	0.87
中途	塩化ゴム系塗料中塗	m2	3.46	3.46
下 坚	0.17 kg/m2	kg	0. 59	0. 59
上途	塩化ゴム系塗料上塗	m2	3.46	3.46
工型	0.15kg/m2	kg	0.52	0.52

### (1) 防護柵塗装塗替工

支柱本数

N = 8 + 8 = 16

塗装面積

支柱塗装 φ125

 $A = \pi \times 0.125 \times 0.55 \times 16 = 3.46 \text{ m2}$ 

#### 2.5 防護柵取替工

#### (1) 数量集計表

種別	仕 様	単位	構造物計	合計	備考
防護柵設置工		m	30.00	30.0	
既設防護柵ビーム撤去工		m	29. 52	29. 5	
既設防護柵撤去工		m	28. 72	28. 7	
スクラップ		t	0. 476	0. 476	

#### (2) 防護柵取替工

1) 防護柵設置工 (嵩上げ支柱・笠木・ビーム)

$$L = 15.00 + 15.00$$

= 30.00 m

#### 2) 材料

材料名	仕様・寸法	単位	合計	備考
4.0mビーム(中穴有)	$2.3 \times 350 \times 4330$	Р	6	
2.0mビーム (中穴無)	$2.3 \times 350 \times 2330$	Р	2	
袖ビーム	$2.3 \times 356 \times 660$	Р	4	
嵩上げ支柱(笠木付)	$4.5 \times 139.8 \times 750$	Р	16	
4.0m笠木 (中穴有)	$3.2 \times 150 \times 50 \times 4000$	Р	6	
2.0m笠木 (中穴無)	$3.2\times150\times50\times2000$	Р	2	
袖笠木	$3.2\times150\times50\times150$	Р	4	
ブラケット	$4.5\times70\times300$	Р	16	
大ボルト	$\texttt{M20}\!\times\!170$	Р	16	
小ボルト	$M16 \times 35$	Р	104	

3) 既設防護柵ビーム撤去工

$$L = 14.76 + 14.76$$

= 29.52 m

4) 既設防護柵撤去工

$$L = 14.36 + 14.36$$

= 28.72 m

5) スクラップ

ビーム (4.33mあたり45.5kg)

$$W = 29.52 / 4.33 \times 45.5 = 310.199 \text{ kg}$$

笠木 ([-130×50×3.2)

$$W = 28.72 \times (0.130 + 0.050 + 0.050) \times$$

 $0.0032 \times 7850$ 

= 165.933

合計 = 476.132 kg

= 0.476 t

#### 2.6 排水管取替工

#### (1) 数量集計表

種別	仕 様	単位	桁下部	合計	備考
排水管設置工		m	4. 40	4.4	
アンカーボルト設置工		本	16	16	
排水管撤去工		m	3.80	3.8	
スクラップ		t	0.050	0.050	

#### (2) 排水管取替工

1) 排水管設置工 (天板プレートー体型排水装置、シール材、アンカー、取付金具含む)

N = 4 箇所 = 4 箇所  $L = 1.10 \times 4$  = 4.40 m

- 2) アンカーボルト設置工
  - ・ 天板プレート設置用

 $N = 4 \times 4$  箇所 = 16 本

3) 排水管撤去工

$$N = 4$$
 箇所  $= 4$  箇所  $L = 0.95 \times 4$   $= 3.80 m$ 

4) スクラップ

#### 2.7 舗装部分打換え工

#### (1) 数量集計表

種別	仕様	単位	車道部	合計	備考
舗装版切断工	t=90mm	m	7. 23	7. 2	
舗装版破砕工	t=90mm	m3	0.41	0.4	
コンクリート殻運搬		m3	0.41	0.4	
コンクリート殼処分		t	0.96	1.0	
舗装部分打換え工	t=90mm	m3	0.41	0.4	1箇所

#### (2) 舗装部分打換え工(車道部)

#### 1) 舗装版切断工

$$t = 90 \text{ mm} (コンクリート舗装版)$$
  
 $L = 0.80 + 5.63 + 0.80 = 7.23 \text{ m}$ 

#### 2) 舗装版破砕工

$$t = 90$$
 mm (コンクリート舗装版)  
 $A = 5.63 \times 0.80$  = 4.50 m2  
 $V = 4.50 \times 0.09$  = 0.41 m3

#### Co殼運搬

Co殼処分

$$V = 4.50 \times 0.09 = 0.41 \text{ m}$$
  
 $W = 0.41 \times 2.35 = 0.96 \text{ t}$ 

### 3) 舗装部分打換え工

デンカスーパーコンクリート同等品 
$$t=90~mm$$
 A = 4.50  $\times$  0.09 = 0.41 m3